

自転車競技大会開催について

2020年3月19日付け専門家会議の提言をもとに大会注意がありました。

道内の大会においても専門家提案三条件に賛同し、自粛している競技団体もあります。政府見解の内容も踏まえ、今後の大会事業を判断しながら進めていきたいと思いを。

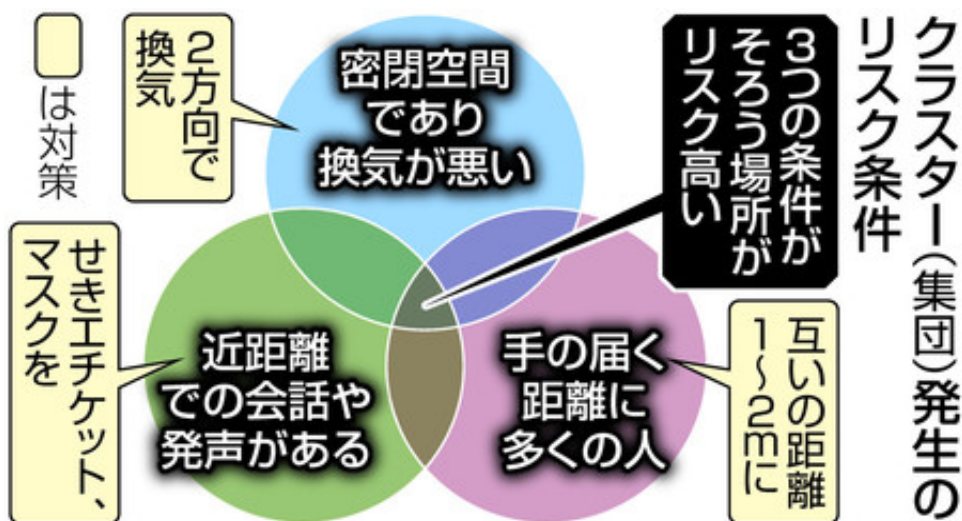
なお、大会募集に踏み切った後も感染拡大等によりやむなく大会を中止せざるを得ない状況が発生する場合は、大会の参加費につきましては返済できませんので、ご了承のうえ申し込み願います。

道内で実施する大会参加条件として、各自でマスク及び消毒液とうを準備できる方、道車連登録を完了している方、ただし道内登録者であっても道外在住の選手は当分の間参加の自粛をお願いします。

当然 熱、咳等が出ている選手の参加は認めませんのでご理解願います。

また、募集期間も開催日程に間に合うよう短縮して行いたいと考えております。

選手皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



別添【多くの人が参加する場での感染対策のあり方の例】

人が集まる場の前後も含めた適切な感染予防対策の実施

- 参加時に体温の測定ならびに症状の有無を確認し、具合の悪い方は参加を認めない。
- 過去 2 週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方は参加しない。
- 感染拡大している地域や国への訪問歴が 14 日以内にある方は参加しない。
- 体調不良の方が参加しないようにする。
- 発熱者や具合の悪い方が特定された場合には、接触感染のおそれのある場所や接触した可能性のある者等に対して、適切な感染予防対策を行う。
- 会場に入る際の手洗いの実施ならびに、イベントの途中においても適宜手洗いができるような場の確保。
- 主に参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取りを定期的に行う。
- 飛沫感染等を防ぐための徹底した対策を行う(例えば、「手が届く範囲以上の距離を保つ」、「声を出す機会を最小限にする」、「咳エチケットに準じて声を出す機会が多い場面はマスクを着用させる」など)

その他

- 終了後の懇親会は、開催しない・させないようにする。